

最近電報

市伊太利人實業家クレスビ氏の斡旋

鶴川君南舟に向つて『おい阪井田君

小學教師

◆當社貸付移殖民諸君に謹告◆

東北地方に地震

大いに與つて力ありと同氏は革命戰争以前より本國に歸省中なりしが親しく首相ムソリニ氏と會見して具

君はよい所に巢をかけたね』とやつたゲナ▲南舟拜むやうな手付をしてシ、シ、桑原々々黙つてく

一名儲ひたし。御希望の方は至急左記へ御來談又は書面にて御照會を乞ふ。

當社は貸金整理の必要上返済不良若くは辨済の誠意なさ者は御氣の毒乍ら本國保証八

但し被害なし

車北地方に地震襲來したるも震動輕度にして被害なし(東京六日)

次いで政府は普選案に關し與萬三派割合

ホ、戸別訪問禁止

州政府の新條件を交附する所あり大體の諒解を得て歸聖し農務長官リベイロサントス氏と議議の結果右協定が解決したと傳へられておる新協定

臺北颱風に襲はる

六日大颱風臺北に襲來す即死十八、

認した(九日總領事館着電)

福田大將遭難

臺灣當時の戒嚴令司令官福田大將一

支那革命と日本

民の大に獎勵すべき必要を力説し陸軍

軍委より傳ふ所に依れば日本政府は

州政府の新條件を交附する所あり大

一百海水の爲め擡はる(東京十日)

今次の支那動亂に對しては絶對中立

さに伯國移民の現状を眞陳し伯國移

蒙古人一揆

を起傍し居れるが萬一の場合には直

接に海陸の兵を出動せしめ得る標準

福田大將遭難

蒙古人一揆

蒙古人はウルガに於て暴動を起し多

数の外人を捕縛せり彼等には勞農政

府の後援あるものゝ如く全亞細亞に

大動亂を起すべく自論見居るが如し

(北京十日)

蒙古人はウルガに於て暴動を起し多

蒙古人一揆

蒙古人はウルガに於て暴動を起し多

数の外人を捕縛せり彼等には勞農政

</

愛郷心の考察

愛郷心の考察

説

苑

愛郷心は人間本然の美性であつて古來人類社會發達の源泉の一をなし

たが然しその如皮相な見解は過々偏頗な排他的に陥り世の爭鬭の源泉となり斯々人類慘渦の戰争の因をなした

素郷土といふも地地球上の一角であり而も近世の如く世界人類相互間の關係が密接になり、凡ての行進が互

類共存共榮の本源に繩められつゝある時愛郷心に對する觀念が時代の推移に順應せなければならぬのは當然である。往昔封建の世に小區域二割居し偏頗な愛郷觀に騙られて蝸牛

角上の争を繰り返したもののが一度外へ逃げ出たものが一度外へ逃げ出たものだ。吾人は在北米全體の爲め涙を呑んで叫びたい。忍從三百年の

彼方によしんば光明在りとするも長くて百年にも足らぬ現實の人の生命を如何せんやと、退して尚可ならず涙を呑んで叫びたい。忍從三百年の

物凄い砲彈恐る可き爆弾あるを見よ、卿等劍のみが劍ではない、火薬のみが爆弾ではないそれ等にも増して銳、劍

や、鐵の塊のみが砲彈ではない、銃剣のみが劍ではない、火薬のみが爆弾ではないそれ等にも増して銳、劍

かくる時海外に在住する日本人が古い故郷に戀々たるの餘り往時より爲政家は面積を縮少され密接を加へた。

代は更に移つた。世界人類の相互關係は面積を縮少され密接を加へた。患の來襲に遭ふや世の變遷に順應するが如きは

民族發展上最も不利なることを悟らねばならない。故に吾人は茲に海外にある者はその移住したる時から其の地に生れ出たものだとの觀念を以て「人間到る處是郷土、我在り故に愛す」の愛郷心を提倡したい。これは吾人が世界人類共存共榮の原則に基いて進む標語でなければならないと思ふ。

近時北米合衆國が偏頗な愛郷心に逆戻りして四海同胞の精神を無視して人種差別の排他的法律を發布して

のに對し吾人が愛郷心の觀念上に把る可き進路は如述のものたる可きの切なるを思ふのである。北米は人道の國世界平和愛好の國基督の博愛の軸を以て、自任しながら後世人類史上に後悔すべき態度に出でたのは被等の爲め世界人類の爲め惜みても餘りあるものである。

此際日本民族は宜しく起つて世界に訴ふべしである、基督の愛に差別あるものにあらず、北米に於ても全

内にも眞の信者は起つて人道の爲め闘ふべきを信する、吾人亦彼等一部の立法者等の反省するまで人類の爲めに闘ふべきである。

忍從の徳は尊い、然し吾人は餘りに之を強ひられ體験した、而もそれは彼等の欺網に外ならなかつたではないか、過ぐる七月一日發布された北米の移民法を見よ、水は低きに流るゝと全く横着者多い現住人は譲る者忍從者を水底に葬らんば止まらないのだ。吾人は在北米全體の爲め涙を呑んで叫びたい。忍從三百年の

彼方によしんば光明在りとするも長くて百年にも足らぬ現實の人の生命を如何せんやと、退して尚可ならず涙を呑んで叫びたい。忍從三百年の

物凄い砲彈恐る可き爆弾あるを見よ、卿等劍のみが劍ではない、火薬のみが爆弾ではないそれ等にも増して銳、劍

や、鐵の塊のみが砲彈ではない、銃剣のみが劍ではない、火薬のみが爆弾ではないそれ等にも増して銳、劍

かくる時海外に在住する日本人が古い故郷に戀々たるの餘り往時より爲政家は面積を縮少され密接を加へた。患の來襲に遭ふや世の變遷に順應するが如きは

民族發展上最も不利なることを悟らねばならない。故に吾人は茲に海外にある者はその移住したる時から其の地に生れ出たものだとの觀念を以て「人間到る處是郷土、我在り故に愛す」の愛郷心を提倡したい。これは吾人が世界人類共存共榮の原則に基いて進む標語でなければならないと思ふ。

基督教の愛、佛の慈悲に幾何の差違ありや神の國、涅槃にぞただけの隔たりあトや何れもその示す所は四海之内仁ではないか。その何れに依つて人生の行路を進むるも落ちつく先は一

物凄い砲彈恐る可き爆弾あるを見よ、卿等劍のみが劍ではない、火薬のみが爆弾ではないそれ等にも増して銳、劍

や、鐵の塊のみが砲彈ではない、銃剣のみが劍ではない、火薬のみが爆弾ではないそれ等にも増して銳、劍

かくる時海外に在住する日本人が古い故郷に戀々たるの餘り往時より爲政家は面積を縮少され密接を加へた。患の來襲に遭ふや世の變遷に順應するが如きは

民族發展上最も不利なることを悟らねばならない。故に吾人は茲に海外にある者はその移住したる時から其の地に生れ出たものだとの觀念を以て「人間到る處是郷土、我在り故に愛す」の愛郷心を提倡したい。これは吾人が世界人類共存共榮の原則に基いて進む標語でなければならないと思ふ。

近時北米合衆國が偏頗な愛郷心に逆戻りして四海同胞の精神を無視して人種差別の排他的法律を發布して

のに對し吾人が愛郷心の觀念上に把る可き進路は如述のものたる可きの切なるを思ふのである。北米は人道の國世界平和愛好の國基督の博愛の軸を以て、自任しながら後世人類史上に後悔すべき態度に出でたのは被等の爲め世界人類の爲め惜みても餘りあるものである。

此際日本民族は宜しく起つて世界に訴ふべしである、基督の愛に差別あるものにあらず、北米に於ても全

神佛の道は全一ではないか、人間が眞理に棹さすに當り何の躊躇を要する可し。又よしらば一昔無理解者の安價なる歎心を得、淺見の舞をなすや必せり。根本に於ける神佛の道は全一ではないか、人間には出でざる可し。又よしらば一昔

徒らに形式に論争を敢てする程思ひ
なさざるのみならず、神を信する者は
は進んで彼等と共に眞の信仰に生き
人類共存共營の本源に進むが如き事
の質な方法たるや殊更に説くま
でない。要は唯世界全人類皆「ヒュ
ーマニチイ」に變りなしといふ一點
を感得すれば足る、其處に人類融和
の路を開け、永遠行進の大策も樹立
せらるゝのである。住所を全じする
人類が籍の別なく愛土の念の全じ
きを見る同理である。

吾人は初めに移住したものはその
から其處に生れ出たものであると
観すると說いた、そして吾人は今伯
國に生を託してゐる、然れば伯國を
愛するは勿論もある。

由來伯國人は愛郷心に燃ゆる民で
ある、這般の動亂にも反徒の先づ宣
するや「愛郷の爲め」といひ、大統
領の征軍を進むるや令して「サンバン
ウロ市街を灰燼に歸すくも精神上の
損害をなす勿れ」と何れも共に愛郷
心に訴えた。反徒が暴力を以てし流
血破壊に導いたのは情むべきことだ
が愛郷心其者には罪も差別もない。
愛郷の精神は遂に勝利を得た。

人生は感激に動く、感激の湧く處
血あり涙あり。吾人は愛郷心の感激
を伯國の野に鼓舞して伯國の自然の
開發に盡すべきである。そして茲に
人類共存共榮の原理の遂行に成功し
たる時こそ偏頗な北米人に打ち勝つ
時である。

警鐘は既に北米の野に亂打された
吾ノ日本ノ族は世界人類行進の闘の
爲め止々の旗旋を懸けて起つたのな
海外に出で此算し使命の首途に立つ
者はその第一歩に於て日常の標語と
して「人間到る處是郷土、我在り故
に愛す」を體すべきを繰り返して提
唱する。

日本歸りの方々様へ
▲御土産や航海中の必要品などをサンバウロ市で買って汽車賃や人足賃を掛けるのは無駄なことです。
弊店は御客様の御需めに應じて御土産並に船中心要品など何に依らず便利に御用達いたし
船迄お届けします
サン・トス市
ラルゴセツセテインプロ十六
上原商店

◎海賊社員の消遊 革命騒動の氣
苦勞や頻繁に渡來する移民配給の
骨折りやらの勞を犠らふ爲め海外興
業會社では去十一日社員一同サント
スで舟遊び鐵方だけでは危険だと云
ふ譯からでもあるまいが何れも妻君
同僚世話役は流澤三郎氏舟の用
意萬端を調へ午後一時から曳網を
やり獲れた新鮮な魚でバイ一人にく
つろぎたりと
◎某津君宮仕へ決定 先頃リオ大
使館へ呼付けられた全氏は愈々大使
館入りを決定したが一應親分の上院
周平翁の承諾を得るとして一先づノロ
エスティベニ
◎大谷翻譯官轉任 全氏の亞國行
は大に延びんとなつて居たが愈々
來月赴任の由
◎松山旅館は泥棒の巣 市内ルア
カンターラの邦人旅館松山三太郎
方では開業日尚浅い所から在留日本
人中で手僻の悪い札付の泥棒が客に
なつて化込み大仕事をする者少なか
らずとツイ先月中頃かねて黒河方面
からアラクワ線を荒し廻つた船
員上もの指無し福田某が松山旅館に
泊り込み相客の金六コントス餘を窃
取してサントスに逃げた後で三太郎
之を見付出し金を取り戻したりと
尙これも札付泥棒金子も先頃來
サンバウ。市に入込みコンデ某邦人
旅館に化込んで居たのを見露はされ
直ちに松山旅館に引移り八百ミル程
益んで逃げた由、田舎から來る人は
御用心々々
●一萬七千円後聞 大袈裟な損害
賠償請求を出して俄かに有名になつた
た瀬戸保博はモウ既に賠償成金にな
つた積りで夫婦連で領館員や新聞
社などをして歩くが本
社の探聞する所に依れば損害賠償も
デカクなる筆香水一瓶三十何円青野
紙帖一円五十錢舟底枕一個五円と云
ふ工合に何でも高盛りしてあるが保
傅がベンに移轉前は所持品を賣喰
た由向これは三太郎の智慧ではなく
専門顧問辯護士で一時南米評論を出

して居て著音器の壊れた音譜などはしてゐた派半田兩舟の尻押しださ
田舎のカイビラに歎して賣付け手提評判だ。
金庫はラツバの某邦人に五百ミルで力行會収會 去七日同會員は曾
投貿りにしたる外金目の品物は荒方長永田氏の來聖を覺えて河氏の歎
賣盡しておる事實が判明した、四十度を乗ねて第一次會をコソデ再
三番に催したるが參集する者甚餘何枚かの書物のやうな損害請求書は
目下齊藤總領事の手元に廻つておる名協議の結果當地に支那空設立する
が總領事も仲々之を一息に讀み終るここに決定會員相互十分交職を盡し
ことが出来ず何度もアクビをしたかて便半散會した
誰たつて眞面目には読み終ることがクロ見物をやつたコチャ村沙人等作
出來ぬ品物たゞか尙當人は時報社な
どへ行き此損害賠償を取るか取らぬ計議を起し寄々協議中なり此は領
事は田代大使の腕前二ツほどホザイ
かは田代大使も毎度ながらアテにしてゐる由なるが田代氏も毎度ながら
いろ／＼な人物に見込まれてありが
たいことである
◎野間貞次郎氏來聖 藤崎商會伯
國支店草分けの支店長で今は藤崎東
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發來月中旬頃
軍の來場も甚數週間に中に過れる今
に紅軍の勝利に歸したミレニアストロ
仕合舉行されるが柄野猛烈なる旋
風の中を兩軍奮戰し十二對八にて遂
に來たものだ彼の店は何を賣つて居
再び歸聖し奥地各方面を視察すべし
三十一年間に變化しに進むの發達
振りには甚く驚いて居た模様なるが
それでも此の店へはよく菓子を買ひ
着手して居ます
◎ミカド野球部便り 豪吉せら直
京本店の總務を勤めて居る野間貞次
郎氏は去月三十日リオ着後藤武雄氏
の案内でセントラル線の同店經營農
場を視察し去十一日前半ノアマド
里去る七日曜午後コンアマド坂下運動
場にて矢崎氏審判の下に紅白野球
六日アルゼンチンに出發

